

地域医療カリキュラム

I 研修スケジュール

木曽病院を中心とした包括的地域医療、地域福祉の現場で研修することにより、地域の求める医師の役割を理解する。また豊かな人間性をもち、全人的医療が施せる医師の育成をめざす。

1 研修スケジュール

- 1・2週目：玉滝村診療所にて指導医について僻地医療の研修
(場合によっては、三岳村診療所に代わることがある。)
- 3週目：木曽保健所で指導医につき研修
- 4週目：訪問診療に参加，木曽老人保健施設（アイライフ）にて研修，療養型病棟にて研修

2 週間スケジュール

1・2週目

	月	火	水	木	金
午前	郡内診療所	郡内診療所	郡内診療所	郡内診療所	郡内診療所
午後	郡内診療所	郡内診療所	郡内診療所	郡内診療所	郡内診療所

3、4週目

	月	火	水	木	金
3週 午前 午後	木曽保健所	木曽保健所	木曽保健所	木曽保健所	木曽保健所
	月	火	水	木	金
4週 午前	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療
午後	訪問診療 木曽老人保健 施設	訪問診療 木曽老人保健 施設	訪問診療 木曽病院療養 型病床	訪問診療 木曽病院療養 型病床	訪問診療 木曽病院療養 型病床

II 研修目標

地域保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応する。

1 一般目標 (GIO: General Instructional Objectives)

- 1) 僻地診療を実際に経験し、その地域住民に対する役割を理解する。
- 2) 僻地医療について理解、実践し、限られた情報の中で適切なプライマリケアをおこなう。
- 3) 保健所の役割について理解し、実践する。
- 4) 社会福祉施設の等の役割について理解し、実践する。
- 5) 訪問診療の役割について理解し、実践する。

2 行動目標 (SBO: Specific Behavior Objectives)

特定の医療現場での経験

1) 王滝村診療所

地域の中での診療所の役割を理解し、診療する。実際に診察、予防接種、健康診断などに参加する。

診察より得られた所見、簡単な検査をもとに、患者の重症度を把握し、他の医療機関に紹介すべきものと、診療所での加療すべきものの判断ができるようにする。

一次救急医療：傷病の初期の処置を問題なく行う。短時間ですばやく診断をおこない、2次医療機関への搬送をおこなう。病状により、救急車、ヘリコプターに同乗する。血液検査機器、画像診断機器などを自ら操作し、診断をおこなう。

2) 木曽保健所

地域医療の中での保健所の役割である下記の事項を理解し、健康診断等の医学的検査、健康教育、診察、保健指導・相談、訪問指導等を行う。

- A) 母子保健対策
- B) 成人・老人保健
- C) 精神保健福祉対策
- D) 難病患者等の支援
- E) 結核対策
- F) エイズ・感染症対策
- G) 健康づくり対策
- H) 食中毒防止対策
- I) 感染性廃棄物
- J) 麻薬向精神薬など
- K) 医療安全対策
- L) 人口動向統計
- M) 死体検案
- N) 介護保険
- O) 産業保健

3) 社会福祉施設

- A) 木曽老人保健施設 (アイライフ)
- B) 木曽病院療養型病床

4) 訪問診療

実際に、患家を訪問することによって、その人の生活スタイルを知り、より深い医療活動をする。

在宅人工呼吸器療法、在宅酸素療法、在宅経管栄養、褥創処置、訪問看護、訪問リハビリなどについて知り、そのマネージメントができるようにする。

また、機会があれば、在宅ターミナルケアについても体験する。

B 経験すべき症状・病態・疾患

(1) 頻度の高い症状

- ① 脳血管障害後遺症
- ② 片麻痺
- ③ 嚥下障害
- ④ 失語
- ⑤ 褥創
- ⑥ パーキンソン症候群
- ⑦ 呼吸器感染症
- ⑧ 尿路感染症

(2) 緊急を要する症状・病態

- ① 肺炎
- ② 心不全
- ③ 転倒による骨折、脳内出血